

2025年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	はりきゅう理論Ⅱ		履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美		講義形式	講義
学習目標と講義概要	鍼灸治療効果の基盤となる理論やエビデンスを理解する。鍼灸の効果について医療専門用語を用いて説明できる。一般には平易な表現で説明ができる。理論やエビデンスに基づいて鍼灸臨床に応用できる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 1 : 生体の調節 1 : 内臓系の調節①	
2	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 2 : 生体の調節 2 : 内臓系の調節②	
3	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 3 : 生体の調節 3 : 運動	
4	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 4 : 生体の調節 4 : 感覚①	
5	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 5 : 生体の調節 5 : 感覚②	
6	1	2	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識 6 : 生体の調節 6 : 感覚③	
7	1	2	第9章 鍼灸治効機序 1 : 鍼鎮痛①	
8	1	2	第9章 鍼灸治効機序 2 : 鍼鎮痛②	
9	1	2	第9章 鍼灸治効機序 3 : 循環系と鍼灸	
10	1	2	第9章 鍼灸治効機序 4 : 運動系と鍼/消化器系と鍼/泌尿器系と鍼	
11	1	2	第9章 鍼灸治効機序 5 : リラクゼーションと鍼灸/生体防御系と鍼灸	
12	1	2	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点 1	
13	1	2	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
「はりきゅう理論 第3版」(公社)東洋療法学校協会編, 教科書検討小委員会著, 医道の日本社 「生理学 第3版」(公社)東洋療法学校協会編, 内田さえ・原田玲子ほか著, 医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	はりきゅう適応判断		履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	足立 隆彦		講義形式	講義
学習目標と講義概要	各疾患の特徴を理解し、鍼灸治療を行うことができるか、または医療機関に紹介すべきかについての判断を行うことが出来るようにすることを目標とする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	総論	
2	1	2	消化管疾患	
3	1	2	肝・胆・膵疾患	
4	1	2	呼吸器疾患	
5	1	2	腎・尿器疾患	
6	1	2	内分泌疾患	
7	1	2	代謝・栄養疾患	
8	1	2	整形外科疾患	
9	1	2	循環器疾患	
10	1	2	血液・造血器疾患	
11	1	2	神経疾患	
12	1	2	リウマチ性疾患・膠原病	
13	1	2	その他の領域	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
解剖学、生理学、臨床医学総論、臨床医学各論、病理学概論：医歯薬出版 東洋医学臨床論 はりきゅう編：医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専門分野	履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	病態生理学	履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格	鍼灸教員資格	使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	足立 隆彦	講義形式	講義
学習目標と講義概要	正常な機能と各種疾患の原因・症状のメカニズムを統合的に理解する。		
回数	コマ数	時間数	学習内容
1	1	2	総論
2	1	2	消化管疾患
3	1	2	肝・胆・膵疾患
4	1	2	呼吸器疾患
5	1	2	腎・尿器疾患
6	1	2	内分泌疾患
7	1	2	代謝・栄養疾患
8	1	2	整形外科疾患
9	1	2	循環器疾患
10	1	2	血液・造血器疾患
11	1	2	神経疾患
12	1	2	リウマチ性疾患・膠原病
13	1	2	その他の領域
14	1	2	単位認定試験
15	1	2	解答解説
合 計			
15	15	30	
学習方法			
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説			
評価方法			
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。			
教科書			
解剖学、生理学、臨床医学総論、臨床医学各論、病理学概論：医歯薬出版 東洋医学臨床論 はりきゅう編：医道の日本社			
教員について【実務経験有】			
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。			

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	東洋医学臨床応用		履修単位/時間	2 単位 30 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美		講義形式	講義
学習目標と講義概要	性差医療の視点から鍼灸臨床で遭遇する女性特有の疾患や症状に対して、概念、病態、症候を理解し、現代医学および東洋医学双方の考え方に基づいた鍼灸治療が組み立てることができる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	性差医療概論	
2	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 1	
3	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 2	
4	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 3	
5	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 4	
6	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 5	
7	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 6	
8	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 7	
9	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 8	
10	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 9	
11	1	2	女性特有の疾患・症状に対する鍼灸治療 10	
12	1	2	現代医学的視点のまとめ	
13	1	2	東洋医学的視点のまとめ	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
「新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）」（公社）東洋療法学校協会編，教科書検討小委員会著，医道の日本社 「新版 東洋医学概論」（公社）東洋療法学校協会編，教科書検討小委員会著，医道の日本社 「新版 経絡経穴概論 第2版」日本理療科教員連盟，（公社）東洋療法学校協会編，教科書執筆小委員会著，医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	社会鍼灸学		履修単位/時間	2 単位 40 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	加瀬 静馬		講義形式	講義
学習目標と講義概要	社会で求められる鍼灸師が果たす役割について学び、論じることができるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	社会的ニーズと鍼灸師の役割	
2	1	2	鍼灸師を取り巻く環境①	
3	1	2	鍼灸師を取り巻く環境②	
4	1	2	鍼灸師を取り巻く環境③	
5	1	2	鍼灸師を取り巻く環境④	
6	1	2	地域で期待される鍼灸師の業務①	
7	1	2	地域で期待される鍼灸師の業務②	
8	1	2	地域で期待される鍼灸師の業務③	
9	1	2	地域で期待される鍼灸師の業務④	
10	1	2	現在社会における鍼灸師の役割①	
11	1	2	現在社会における鍼灸師の役割②	
12	1	2	現在社会における鍼灸師の役割③	
13	1	2	現在社会における鍼灸師の役割④	
14	1	2	あらたな鍼灸師の役割	
15	1	2	施術所の経営展開①	
16	1	2	施術所の経営展開②	
17	1	2	施術所の経営展開③	
18	1	2	まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	解答解説	
合 計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 「社会あはき学 第3版」 (公社)東洋療法学校協会編, 教科書執筆小委員会, 医道の日本社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	総合実技 I		履修単位/時間	1 単位 40 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸実技室
教員名	足立 隆彦		講義形式	実技
学習目標と講義概要	現代医学的考え方にもとづいた鍼灸治療の実際について学ぶ。鍼灸臨床で遭遇することが多い整形外科的疾患や疼痛性疾患について、症候や身体診察を実践し推定した病態について基本的な鍼灸治療ができる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	整形外科的疾患に対する現代医学的アプローチ	
2	1	2	鍼灸治効理論にもとづいた刺激方法	
3	1	2	頭痛の鑑別と鍼灸治療	
4	1	2	顔面痛，顔面神経麻痺の鑑別と鍼灸治療	
5	1	2	頸部痛，頸肩腕痛の鑑別と鍼灸治療	
6	1	2	肩関節痛の鑑別と鍼灸治療	
7	1	2	上肢痛の鑑別と鍼灸治療	
8	1	2	上肢絞扼性障害の鑑別と鍼灸治療	
9	1	2	腰痛の鑑別と鍼灸治療	
10	1	2	腰下肢痛の鑑別と鍼灸治療①	
11	1	2	腰下肢痛の鑑別と鍼灸治療②	
12	1	2	殿部痛・股関節痛の鑑別と鍼灸治療	
13	1	2	膝関節痛の鑑別と鍼灸治療	
14	1	2	下肢痛の鑑別と鍼灸治療	
15	1	2	内臓由来症状の鑑別と鍼灸治療	
16	1	2	心理・精神的症状の鑑別と鍼灸治療	
17	1	2	まとめ1	
18	1	2	まとめ2	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	試験フィードバック	
合 計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専 門 分 野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	総合実技Ⅱ		履修単位/時間	1 単位 40 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸実技室
教員名	足立 隆彦		講義形式	実技
学習目標と講義概要	東洋医学的理論、とくに中医学理論にもとづいた鍼灸治療の実際について学ぶ。鍼灸臨床で遭遇することが多い整形外科的疾患や疼痛性疾患について、症候や四診を実践し弁証した病態について基本的な鍼灸治療ができる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	整形外科的疾患に対する中医学的アプローチ	
2	1	2	中医学的刺鍼法、押手法	
3	1	2	肩こりの弁証論治と鍼灸治療	
4	1	2	痹証の弁証論治と鍼灸治療	
5	1	2	棒灸療法	
6	1	2	頸部痛の弁証論治と鍼灸治療	
7	1	2	背部夾脊刺鍼法	
8	1	2	頸肩腕痛の弁証論治と鍼灸治療	
9	1	2	肩関節痛の弁証論治と鍼灸治療	
10	1	2	肘部痛、手関節痛の弁証論治と鍼灸治療	
11	1	2	拔缶療法	
12	1	2	腰痛の弁証論治と鍼灸治療	
13	1	2	腰下肢痛の弁証論治と鍼灸治療	
14	1	2	殿部痛・股関節痛の弁証論治と鍼灸治療	
15	1	2	膝関節痛・下腿痛の弁証論治と鍼灸治療	
16	1	2	頭痛の弁証論治と鍼灸治療	
17	1	2	まとめ1	
18	1	2	まとめ2	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	試験フィードバック	
合 計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	総合実技Ⅲ		履修単位/時間	1 単位 40 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸実技室
教員名	北村 恵実子		講義形式	実技
学習目標と講義概要	伝統医学・東洋医学的臨床を中心に患者への対応の仕方、治療方針の立て方、様々な治療方法を総合的に指導し、臨床家としての質の向上を目指す。治療方法としては伝承医学でもあり東医学的な全身治療（経絡治療）しつつ、さまざまな患者に対応できるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	経絡治療総論・灸実技	
2	1	2	証の立て方・灸の実技 1	
3	1	2	証の立て方・灸の実技 2	
4	1	2	本治法の治療穴の選び方と取穴・実技 1	
5	1	2	本治法の治療穴の選び方と取穴・実技 2	
6	1	2	本治法の治療穴の選び方と取穴・実技 3	
7	1	2	標治法の治療穴の選び方と取穴・実技 1	
8	1	2	標治法の治療穴の選び方と取穴・実技 2	
9	1	2	標治法の治療穴の選び方と取穴・実技 3	
10	1	2	俞穴と募穴の使い方と手技・実技 1	
11	1	2	俞穴と募穴の使い方と手技・実技 2	
12	1	2	俞穴と募穴の使い方と手技・実技 3	
13	1	2	経絡治療：方法と適応症 1	
14	1	2	経絡治療：方法と適応症 2	
15	1	2	経絡治療：方法と適応症 3	
16	1	2	特殊鍼の使い方と適応症 1	
17	1	2	特殊鍼の使い方と適応症 2	
18	1	2	まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	試験フィードバック	
合 計				
20	20	40		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	総合実技Ⅳ		履修単位/時間	1 単位 40 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸実技室
教員名	北村 恵実子		講義形式	実技
学習目標と講義概要	伝承医学・東洋医学を中心に全身治療を行いつつ、局所治療や、さまざまな患者ニーズに対応できるような鍼灸師を目指す。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	顔面へのアプローチと全身治療 1	
2	1	2	顔面へのアプローチと全身治療 2	
3	1	2	胸部・背部の局所治療 1	
4	1	2	胸部・背部の局所治療 2	
5	1	2	胸部・背部へのアプローチと全身治療 1	
6	1	2	胸部・背部へのアプローチと全身治療 2	
7	1	2	腹部の治療 1	
8	1	2	腹部の治療 2	
9	1	2	腹部の治療 3	
10	1	2	腹部へのアプローチと全身治療	
11	1	2	腰部・臀部の治療 1	
12	1	2	腰部・臀部の治療 2	
13	1	2	腰部・臀部の治療 3	
14	1	2	婦人科疾患 1	
15	1	2	婦人科疾患 2	
16	1	2	婦人科疾患 3	
17	1	2	婦人科疾患 4	
18	1	2	まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	試験フィードバック	
合 計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	臨床実習Ⅳ		履修単位/時間	1 単位 45 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	臨床実習室
教員名	仲條佐登美, 市川隼, 野澤かおり, 加瀬静馬, 川浦渉太		講義形式	実習
学習目標と講義概要	鍼灸臨床で遭遇する疼痛性疾患やその他疾患にもとづく症状について、実際の臨床現場を想定し、病態把握から治療方針、治療計画・評価計画などを展開できるようになる。臨床家として適切な姿勢やコミュニケーションについても学び、模擬患者に実践できるようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	診療録の書き方 1	
2	1	2	診療録の書き方 2	
3	1	2	模擬症例の分析1	
4	1	2	模擬症例の分析2	
5	1	2	模擬症例の分析3	
6	1	2	模擬症例の分析4	
7	1	2	模擬症例の分析5	
8	1	2	模擬治療1: 医療面接から評価まで	
9	1	2	模擬治療1の分析と検討	
10	1	2	模擬治療2: 医療面接から評価まで	
11	1	2	模擬治療2の分析と検討	
12	1	2	模擬治療3: 医療面接から評価まで	
13	1	2	模擬治療3の分析と検討	
14	1	2	模擬治療4: 医療面接から評価まで	
15	1	2	模擬治療4の分析と検討	
16	1	2	模擬治療5: 医療面接から評価まで	
17	1	2	模擬治療5の分析と検討	
18	1	2	模擬症例の設定と治療1	
19	1	2	模擬症例の設定と治療2	
20	1	2	模擬症例の設定と治療3	
21	1	2	単位認定試験①	
22	1	2	単位認定試験②	
23	0.5	1	試験フィードバック	
合 計				
23	22.5	45		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	総合領域Ⅲ			履修単位/時間	6 単位 180 時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	大野政明, 仲條佐登美, 市川隼, 野澤かおり, 加瀬静馬, ほか			講義形式	講義
学習目標と講義概要	本次まで学んだはり師・きゅう師に必要な臨床的知識を総合的に修得し、適正な判断のもと現代医学的または東洋医学的方法をもって患者に不利益を生じさせない施術を行える知識を獲得する。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1～5	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎1 (解剖学分野の知識を再構築する)		
6～10	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎2 (生理学分野の知識を再構築する)		
11～15	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎3 (病理学分野の知識を再構築する)		
16～20	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎4 (臨床医学総論分野の知識を再構築する)		
21～25	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎5 (臨床医学各論分野の知識を再構築する)		
26～30	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎6 (リハビリテーション医学分野の知識を再構築する)		
31～35	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎7 (衛生学・公衆衛生学分野の知識を再構築する)		
36～40	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎8 (医療概論・関係法規分野の知識を再構築する)		
41～45	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎1 (東洋医学概論分野の知識を再構築する)		
46～50	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎2 (東洋医学概論分野の知識を再構築する)		
51～55	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎3 (経絡経穴概論分野の知識を再構築する)		
56～60	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎4 (経絡経穴概論分野の知識を再構築する)		
61～65	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎5 (経絡経穴概論分野の知識を再構築する)		
66～70	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎6 (東洋医学臨床論分野の知識を再構築する)		
71～75	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎7 (東洋医学臨床論分野の知識を再構築する)		
76～80	5	10	はり師・きゅう師における東洋医学の基礎8 (はりきゅう理論分野の知識を再構築する)		
81～85	5	10	まとめ		
86～88	3	6	単位認定試験①②③		
89～90	2	4	試験解説①②		
合 計					
90	90	180			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
「解剖学」「生理学」「病理学」「医療概論」「衛生学・公衆衛生学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」「リハビリテーション医学」「東洋医学概論」「経絡経穴概論」「東洋医学臨床論」「はりきゅう理論」の各教科書					
教員について【実務経験有】					
全担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	3 年 / 昼
科目名	統合教育科目		履修単位/時間	4 単位 120 時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第3鍼灸普通教室
教員名	大野政明, 仲條佐登美, 市川隼, 野澤かおり, 加瀬静馬, ほか		講義形式	講義
学習目標と講義概要	本次まで学んだはり師・きゅう師に必要な臨床的知識を総合的に修得し、適正な判断のもと現代医学的または伝統医学的な方法をもって患者に不利益を生じさせない施術を行える知識を獲得する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1～5	5	10	現代医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 1 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
6～10	5	10	現代医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 2 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
11～15	5	10	現代医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 3 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
16～20	5	10	現代医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 4 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
21～25	5	10	現代医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 5 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
26～30	5	10	東洋医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 1 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
31～35	5	10	東洋医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 2 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
36～40	5	10	東洋医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 3 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
41～45	5	10	東洋医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 4 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
46～50	5	10	東洋医学的判断に基づく鍼灸治療の実際 5 (講義および実技実習で修得した知識・経験を再構築する)	
51～55	5	10	まとめ	
56～58	3	6	単位認定試験①②③	
59～60	2	4	試験解説①②	
合 計				
90	60	120		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
「解剖学」「生理学」「病理学」「医療概論」「衛生学・公衆衛生学」「臨床医学総論」「臨床医学各論」「リハビリテーション医学」「東洋医学概論」「経絡経穴概論」「東洋医学臨床論」「はりきゅう理論」の各教科書				
教員について【実務経験有】				
全担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸治療院でも臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				